

フィールドパビリオンが集結 兵庫の魅力を 体験できる5日間

5月26日(月)から大阪・関西万博会場で開催する「ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2025」では、114件の認定プログラムを通じて兵庫の魅力を世界にアピールします。2カ所のステージでは、伝統工芸や文化を紹介するトークショーや能楽、播州織のファッションショーなど多彩なパフォーマンスを展開。ブースでは、兵庫の酒や黒毛和牛など兵庫を代表するグルメの試飲や試食、ワークショップなどを楽しめます。(県万博推進課)

ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2025

- 📅 5月26日(月)～30日(金)11時～19時
- 📍 万博会場ギャラリーWEST・ポップアップステージ西 (大阪市此花区夢洲中1)
- 📞 県万博推進課 ☎078-362-9114 📠078-362-3950

詳しくは
こちら



関連イベント

ひょうご フィールドパビリオン ウィーク

5月20日(水)から25日(火)まで、関西パビリオン多目的エリアで開催。ステージや展示で鉄道沿線の地域活性化事例の紹介や兵庫の酒の試飲などを実施します。



1 姫路藩主の御用能楽師を務めた江崎家の十二世江崎欽次郎さん(写真中央)らが能楽「高砂」のクライマックスを実演します。2 産地と高校生たちがコラボして播州織のファッションショーを実施します。

こどもの日に開催される 朝光寺の鬼追踊

加東市の朝光寺では、毎年5月5日に「鬼追踊」が奉納されます。悪を払い疫病を除く儀式として旧暦の正月15日に行われていましたが、一度途絶えた後、明治以降は5月の八十八夜に五穀豊穡^{ほうじょう}と無病息災を祈願する行事に。現在は、こどもの日に実施しています。県指定重要無形民俗文化財であり、室町時代に始まったとされる勇壮な踊りを見に行きませんか。(加東市教育委員会生涯学習課)



おきな役1人と鬼役4人が鐘の音に合わせて飛び跳ねながら踊ります。

- 📞 加東市教育委員会生涯学習課
- ☎0795-48-3046 📠0795-48-3047

詳しくは
こちら



若い世代が伝える 震災の記憶

「リメンバー117」は、公募で集まった18歳から25歳までの14人が、阪神・淡路大震災や防災についての記事を作成し、震災30年事業の締めくくりとして10月をめぐに同事業の特設サイトで発信する県のプロジェクトです。現在は各自が身近な経験や関心を基にテーマを考える段階で、私は前十字靱帯断裂^{じんたい}の経験から「けがをしている時に被災したら？」にする予定です。同世代に震災・防災を自分のこととして考えてもらえるコンテンツを目指します。(リメンバー117メンバー・関西学院大学3年生 山崎天智さん)



編集会議で意見を交換しながら企画を練り、取材方法なども学んでいます。

- 📞 県防災支援課
- ☎078-362-9062
- 📠078-362-4459

詳しくは
こちら



「能登半島地震をきっかけに震災を身近に感じるようになり、応募を決めました」と山崎さん。